

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	こども発達支援むぎいるnishio		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 4月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 4月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 2月 1日		令和7年 4月 23日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4	(回答数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 28日		

○分析結果			
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の医療職を配置し、多職種で支援を行うことで、多角的な視点での評価支援を提供することができる。	各専門性の意見を踏まえ、支援内容の見直しを行うことができる。	今後も、情報共有を行いながら、より適切な支援を提供していきます。
2	対象児が法人内の訪問看護を利用している場合、保護者の同意の上、訪問看護と情報共有を行うことができる。	訪問看護の状況も踏まえた、支援計画を作成し実践することができる。	今後も、情報共有を密に行いながら、必要な支援を提供していきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の資質の向上を図るための研修を受講する機会が少ない。	限られた時間と人員のため、研修を受講する時間を割くことが難しかった。	質の向上のため、時間調整等を行いながら研修を受講できるようにしていきます。
2	緊急時の対応について訪問先施設と連携し実践することが必要。	訪問先と緊急時の対応方法についての協議する時間が不十分であった。	緊急時対応について、訪問先との連携について協議、実践できるようにし、保護者へも説明を行っていきます。
3	定期的な通信やホームページ・SNS等での情報発信が不十分。	HPで情報発信をしていることの周知が不十分であった。	引き続き、HPでの情報発信を行い、周知を図っていきます。